

Main course schedule table with columns for Day/Time, Course Name, and Lecturer. Includes sections for Information Science, Information Systems, Mechanical Systems, and Materials Science.

Table with 2 columns: Day/Time, Course Name. Includes '土曜 Cc J 実践ソフトウェア開発基礎論'.

Table with 2 columns: Course Name, Lecturer. Includes '集中講義※詳細は別途掲示' and '集中講義(OI)'.

Table with 2 columns: Course Name, Lecturer. Includes 'Cc J 大学院データサイエンス実践演習1' and 'Cc J 大学院データサイエンス実践演習2'.

Table with 2 columns: Course Name, Lecturer. Includes '未定・休講・調整中の科目' and 'Bb 大学院国際プロジェクト'.

Table with 2 columns: Course Name, Lecturer. Includes '通年科目' and 'Cb ETL'.

Table with 2 columns: Course Name, Lecturer. Includes '曜日時限が指定のないオンデマンド授業' and '技術者と安全・環境・倫理'.

Table with 2 columns: Day/Time, Course Name. Includes '授業時間' and '第1時限 9:00 ~ 10:30'.

対面授業【着色なし】
詳細はシラバス参照

遠隔授業
詳細はシラバス参照

昼夜共通開講科目(情報・ネットワーク工学専攻)

Table with 2 columns: Day/Time, Course Name. Includes '水曜7限 Cc ハイパフォーマンスコンピューティング基礎論 山本(有)'.

注1)科目名の先頭の英字は以下で講義する科目の種別を示します。

- Aa,Ab:日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生、または、英語のみで講義を理解する英語能力がある日本人学生に向けた講義
Ac,Ba,Bb,Bc,Ca,Cb:英語のみでの大学院講義の理解は難しい日本人学生に対し、専門用語等の理解を中心に、英語力向上に資することも目的とした講義
Cc:英語で行う講義には含まない。
注2)教員名の前の○印は非常勤講師であることを示します。
注3)授業科目名の文字の大きさは、授業内容と一切関係ありません。
注4)授業科目名に★が付いているものは、春タームに週2回開講する科目です。

Main course schedule table with columns for Day/Time, Course Name, and Instructor. Rows are organized by month (月) and day (曜).

土曜 (Saturday) section with course details like 'Cc J 実践ソフトウェア開発基礎論'.

集中講義 (Concentration Lectures) section listing various specialized courses and their instructors.

未定・休講・調整中の科目 (Undecided/Cancelled/Adjusted Courses) section listing specific course adjustments.

通年科目 (Year-long Courses) section listing 'Cb ETL' and 'Cb 危機・限界体験特別実験'.

曜日時限が指定のないオンデマンド授業 (On-demand courses without day/time limits) section listing various on-demand courses.

授業時間 (Lecture Time) section listing specific time slots for courses.

対面授業【着色なし】 詳細はシラバス参照

夜夜共通開講科目(情報・ネットワーク工学専攻) 水曜7限 Cc ハイパフォーマンスコンピューティング基礎論 山本(有)

注1)科目名の先頭の英字は以下で講義する科目の種別を示します。 Aa,Ab:日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生... 注2)教員名の前の○印は非常勤講師であることを示します。

遠隔授業 詳細はシラバス参照

英語で行う大学院講義の分類表改訂版

		説 明 言 語		
		A:英語のみ	日本語	
			B:英語と日本語を併用する	C:日本語のみ
資 料 言 語	a:英語のみ	Aa :英語で説明し、 英語の教材・資料を使う。	Ba :英語と日本語を併用して説明し、 英語の教材・資料を使う。	Ca :日本語で説明し、 英語の教材・資料を使う。
	b:英語と日本語を 併用する	Ab :英語で説明し、 英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。	Bb :英語と日本語を併用して説明し、 英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。	Cb :日本語で説明し、 英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。
	c:日本語のみ	Ac :英語で説明し、 日本語の教材・資料を使う。	Bc :英語と日本語を併用して説明し、 日本語の教材・資料を使う。	Cc :日本語で説明し、 日本語の教材・資料を使う。

※教材・資料には、板書を含む。

○英語で行う講義タイプ

緑: 日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生、または、英語のみで講義を理解する英語能力がある日本人学生に向けた講義(英語で行う講義 旧タイプⅠ)

橙: 英語のみでの大学院講義の理解は難しい日本人学生に対し、専門用語等の理解を中心に、英語力向上に資することも目的とした講義(英語で行う講義旧タイプⅡ)

黄: 英語で行う講義には含まない。

★ 説明言語について

- A. 講義は全て英語で行う。
- B. 基本的に日本語で講義を行うが、部分的に英語を使用し、専門用語などで英語による表現等を学ばせ、日本人学生の専門的な英語力向上を図るもの。
また、日本語の理解に不安が見られる留学生がいる場合、英語による説明を行うもの。
- C. 講義は日本語のみで行う。

★ 資料言語について

- a. 講義で使用する教材・資料は全て英語で行う。
- b. 講義で使用する教材・資料の内、全体の半分程度またはそれ以上で、英語により書かれた教材・資料を使用し、日本人学生の専門的な英語力向上を図るもの。
また、日本語の理解に不安が見られる留学生がいる場合、英語の資料を提供するもの。
- c. 講義で使用する教材・資料は、全て日本語で行う。